

認知症ケアの応援本（3冊シリーズ）



New 令和2年3月24日発行→→→→→→
包括的BPSDケアシステム®評価票も掲載

在宅と病院をつなぐ 認知症対応力アップを応援する本を出版



▶ 令和2年3月24日発行の新刊をご紹介します。

書籍名：内田陽子編著：在宅と病院をつなぐ認知症対応力アップマニュアル、照林社、2020.

平成28年度診療報酬改定で、病院における認知症ケア加算が新設されました。多くの看護師が研修を受け、各病棟で認知症ケアをがんばっています。

ただ、認知症をもつ人の多くは在宅で暮らしています。したがって、在宅での認知症の対応力が求められていますが、訪問看護師等の在宅ケア職員に対する研修はまだ不十分な状況があります。

また、病棟の看護師も在宅にどうつなげていくか、不安を抱えています。

そこで、この本は在宅ケアに携わる職員の方、病院勤務の方に向けて認知症ケア対応力を応援するものとしてまとめられました。

共著者：認知症専門医師山口晴保先生をはじめ、群大老年看護学教員、ぐんま老人看護専門看護師、リハビリ職の資格をもつ教員など

* AMED成果物である「包括的BPSDケアシステム[®]評価票」も掲載